



の いる 風 景

及川 美津子 さん



【おいかわ みつこ さん】 白樺

●千歳フォークダンスハートフル代表

毎週、木・金曜日に活動しています。

※4月15日、22日、5月6日、13日は、
初心者講習会を行います。

詳細は及川まで ☎(28) 5320

フォークダンスで一体感を 味わってみませんか

「**マ** イムマイム」、「ジェンカ」。その名前を聞くと、フォークダンスのメロディーを思い浮かべます。

「フォークダンスは、世界の民族舞踊です。盆踊りは、日本のフォークダンスなんですよ」と話すのは「千歳フォークダンスハートフル」で代表を務める及川さん。2人1組やみんなで輪になり、歌に合わせて、アメリカやイギリス、イスラエル、メキシコなど世界の民族舞踊を楽しんでいる。

今年で結成16年目を迎えるハートフルは、仲間づくりと健康づくりを目標に10人で結成した。現在、女性38人で活動している。「楽しくなければフォークダンスではありません。みんなが振り付けの確認や声を掛け合いながら和気あいあいとした雰囲気の中で練習しています」と語る。

ピアノやギター、三味線などの生演奏に合わせて踊ることもあり「このと

きは、全員が心地良いメロディーに合わせて、いつも以上に楽しく踊っています」と話す。

「フォークダンスの一番の魅力は、みんなとの一体感を味わえること。手をつなぎ、同じステップを踏むので、曲が終わると、自然とみんなが拍手しながら一緒に笑います」と及川さん。

たくさんの方にフォークダンスの魅力を伝えるため、介護施設や保育園を訪問し、踊りを披露することもあるという。「介護施設では、入所者の方と手を合わせて踊ることもあります。保育園では『踊りを見ていてね』と言っても、音楽が始まると子どもたちは踊りに参加してしまいます。皆さんの楽しんでる姿を見ると、元気をもらえますね」と笑顔を見せる。

昨年、ダイナックスアリーナ（スポーツセンター）で実施された「道央地区フォークダンス大会」では、全道各地から400人を超える方が集

まり、2日間で約130曲を踊った。「それはもう、全員が一斉に踊り出す様子は、壮大なスケールで、普段とは違う一体感を味わうことができました」と言葉に熱がこもる。

今年7月には、5年に一度の「全日本フォークダンス大会」が神戸で開催される。ハートフルのメンバーは、全国から集まる団体と一緒にポーランドの曲「ボロネーゼ ウロチステイ」を踊る予定。この曲は、2人1組で手を取り、縦に隊列を組んで、ゆったりとした音楽に合わせて複雑な振り付けを踊る。これまで、難しい振り付けも一歩ずつ前進しながらみんなで踊れるようになってきたという。

「踊りに豊作や狩りの収穫を祝うなどの意味があるフォークダンスは、その国のことを知るきっかけにもなります。皆さんも私たちと一体感を味わってみませんか」とほほ笑みながら話してくれた。